

6年 日光高原学園 7月29日(日)～31日(火)

天候に恵まれた3日間。子供たちはよく食べ、よく寝て、よく歩きました。戦場ヶ原のハイキングは、普段こんなに歩くことはめったにないだろうという長い距離でしたが、大自然の風景と友達とのおしゃべりを楽しみながら歩きました。夜は湯乃湖荘の女将さんによる怖いお話を聞いた後、宿舎のまわりを歩きました。どの子どもドキドキしながら友達の手をぎゅっと握りしめていましたが、この時のことを「男女関係なく助け合うことの大切さを学んだ」と後で振り返っていました。

体調が悪い友達のことを思いやったり、困ったことが起きたときにみんなで解決方法を考えたり、普段気がつかなかった友達の意外な面を発見したりと、子供たちはかけがえのない時間を過ごしました。この経験を生かし、卒業までの日々を最高学年として悔いなく過ごしてほしいと願っています。

(6年担任：横田 勉、鈴木 周子)



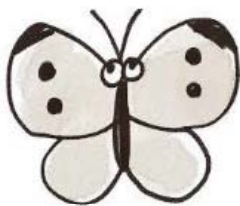
戦場ヶ原

3年生紹介

3年生になって、社会科、理科、総合的な学習の時間、習字、リコーダーなど、新しい学習が増えました。

理科の学習では、チョウやトンボの卵や幼虫を育て、その成長の様子を観察しました。モンシロチョウの幼虫はキャベツをよく食べ、糞もたくさん出します。その掃除は毎日大変です。

トンボの幼虫(ヤゴ)は、赤虫にすごい速さで食いつきます。ヤゴが赤虫を頬張る姿を見たある子の感想は、「おそばを食べているみたい」。みんなで世話をした虫たちは、成虫になって何匹も飛び立っていきました。その経験を生かし、総合的な学習の時間には「生き物博士になろう」という学習をしました。身近な生き物の中から興味のあるものを選び、くわしく調べました。子供たちが選んだ生き物は、カブトムシ、アリ、ダンゴムシ、カナヘビ、金魚、カメなどです。校庭でダンゴムシやアリをさがす子、教室でカメや金魚をじっくり観察する子など様々でした。研究を進めていくと、「カメがえさを食べたり、泳いだりするのをじっと見たのは初めてだ。」



「ダンゴムシのオスとメスの見分け方が分かったよ。」など生き生きとした声が聞こえてきました。最後に、「本当は生き物が苦手だったけど、かわいいなと思うようになりました。」という感想も聞くことができました。

これからも新しいことに進んで取り組み、心豊かに成長してほしいと思います。(3年担任：太田 陽子、下地 杏奈)



9月の生活目標

9月の生活指導目標は、「丈夫な体をつくりましょう」です。

長かった夏休みが明けました。夏休み中、お子さんはどのように過ごしていたでしょうか。今年はまれにみる酷暑だったせいもあり、「冷房の利いた部屋で1日中…」等ということはなかったでしょうか？熱中症にならないようにすることはもちろんですが、ある程度気温の変化に対応できる体をつくることも大切です。もうしばらくすると暑さも落ち着いてくると思います。帽子をかぶったり、水分補給に気を付けたりしながら体を動かして、丈夫な体をつくれるよう指導していきます。

ご家庭でもお声掛けの程、よろしく願いいたします。

(生活指導主任：横田 勉)



